



そうこうしているうちに クリスマスも過ぎ 早やの日。上手にこの
 一年を整理して 新らしい年を迎える準備を しっかりやりましょ
 と決意する一日です。 寒くなるとう人の動作も心も 動きが悪く
 あります。 ホイラーも 動きがくなく 取り替えて 私人の 頑張
 ってくれています。 正介と 亮(アツキ)は おやすみ。 反斗母は
 おたつくりをつくらせて下され。 私は いろいろの 勘漬けと思
 仁込みました。 20日は お餅つきと お正月飾りをして
 純いながらも 着実に 進行していきます。 長男、允は 昨年
 同様 東京の「パリの朝市」に出張。 妻子のある身は
 疲れても 尚 けづかなくて は ならない。 大変に けと くれか
 るという こと。 それを 成長させて 与えている 現実 なんだと
 心に見守ります。 人間の一生が う。 すら 見えて 来た 感
 有りの 今日この頃です。 ... だから 楽に 少々 命や 手を ぬいて
 くだらぬように と思ふ 方には 似た 頃。 そんな私を 我
 めるような 言葉に 出会いました。

師走の夕暮れ キンキキと 夕の散歩を 要求
 する公と一緒に フラフラと 山のける 道すから お正月
 用に 出荷し 終て 夕の 畑に残っている 南天の 実
 が 真赤で とどまきれいです。 葉は ほぼ 全部 落して
 柿の 実だけが残る 柿の下 下を通り... という
 か ひとつの 景色なのですか。 今年も 甘みと 酸
 味 両方 あり と思っている 向は 振の 一家も やって 来
 て 実が 1つ 残らず 木の上で 食やて しまいました。 夕
 ら 見廻しても 柿の 実が この 辺り 1つ もない 状態
 のような こと 始めて びっくり しました。 食物が 無
 いから ぶり おいしい物に 目覚め 始めたのか... という こと
 でしょうね。

今月の 寒さは すごいです。 お客様も 終
 大の 寒い 朝は 暖かから 床から 出られず
 暗くなって 来ると どう 早く 食事して お風呂に入って 寝ま
 しょう。 寝ましよう 感覚で この ころ しっかり 睡眠
 が ほしい こと 思ふ いた いた いた いた いた いた いた
 います。

思考に 身をつけたい。 それはいつか 言葉に なるから
 言葉に 気をつけたい。 それはいつか 行動に なるから
 行動に 気をつけたい。 それはいつか 習慣に なるから
 習慣に 気をつけたい。 それはいつか 性格に なるから
 性格に 気をつけたい。 それはいつか 運命に なるから

マダニ

恐... と思ひました。 来年は この こと 気をつけたい と思
 いました。 今年も お世話様 になりました。 来年も
 皆様方にとりまして 素晴らしい 年に になりますように
 来年も どうぞ よろしく お願ひ 申し上げます。